

おどろか 議会だより

第117号 2021.7.10



contents

(一部画像を加工しています)

- 小値賀の石垣があぶない!? どうなる? 旧小西邸の石垣・・・2～
- 定例6月会議 令和3年度補正予算審議ほか・・・4～
- 町長に質問 もっと積極的な情報公開を!・・・6～
- 教育長に質問 具体的で魅力に富んだ教育のアピールを!・・・8～
- 町長に質問 町がどこへ向かっていくのか明確に!・・・9
- 新メンバーでスタート! 町議会委員会&議会モニター・・・10



解体する旧小西邸と保存すべきと考える石垣（右上写真：建物の裏側の小径の石垣）

小値賀の石垣があぶない!? どうなる？ 旧小西邸の石垣

小値賀町議会では、町民の皆さんが議員や議会に直接相談できる窓口である「ギカイの窓」を設けています。

この「ギカイの窓」に3月19日から26日までの間、旧小西邸の石垣に関する意見がたくさん寄せられました。

（以下一部要約）

小値賀の魅力を守れ

Aさん

旧小西邸が町に寄附され、町が石垣も含めて全部壊す予定との話を聞いてとても驚いた。

状態がとても良く、高さもあって、前の道のカーブを守ってくれている。

玄武岩でできている石垣が小値賀の魅力的な特徴のひとつだ。

それを無くしてはいけないと思う。

Bさん

貴重な景観を崩してしまうことになり、とても残念だ。石垣の取り壊しが中止になることを願っている。

Cさん

観光客から、小値賀は町を歩いていて何だか懐かしさくほっとするという話をよく聞く。

それは瓦屋根だったり、石垣だったり、そこに人の暮らしを感じ取れるからだと思う。

小値賀の景観で石垣は大きな役割を担っていると思うが、石垣を積める人は、もうあまりいないと聞く。

今小値賀にある文化資源をどのように残し守っていくかを考えていただきたい。

このままでは小値賀の魅力が徐々に無くなっていってしまうので心配だ。

道路の見通しが悪い

町に寄附された旧小西邸の解体工事は令和3年度の予算に組まれています。

3月10日の予算特別委員会の審査の中で西村町長は、道路の見通しが悪いことと、ここを消防署の移転先として考え、寄附を町の方からお願いしたと話しました。

ただし県道のため、県との協議も必要で、また石垣が欲しいという人がたくさんいるとも話しました。

今回の解体工事は2カ所合わせて650万円。

「ギカイの窓」に寄せられた意見も踏まえ、寄附の経緯や石垣の取り扱いについて、総務文教厚生常任委員会会で協議することになりました。

小値賀町長 西村 久之 様

小値賀町議会
議長 横山 弘 蔵



寄附物件の取り扱いについての要望書

先日開催された定例3月会議において提出された寄附物件の取り扱いについて、多くの町民が大変心配し、その取り扱いに憂慮しています。
今後、寄附物件の取り扱いには十分配慮し、これからの寄附物件の取り扱いにおいて下記のとおり要望致します。

記

1. 寄附行為に対し様々な憶測を与えないよう、寄附を受ける場合の取り決めに考慮して欲しい。
イ 特に利活用を十分計画された物件が、又壊すことを前提にした寄附の受付には十分な配慮が必要と思われる。残すべき物件かの可否を十分配慮すること。
ロ 小値賀町にとって貴重な財産と思われる寄附についてはあらかじめ議会への説明を考慮すること。
ハ 町に所有権が移ることによる固定資産税への影響を検討すること。
2. 小値賀町の重点景観計画区域内及び国の重要文化的景観選定区域内にある物件の取り扱いには十分留意すること。
特に今回の旧小西邸を囲む、小値賀島から産出された火山岩の一種で暗灰色の玄武岩によって築かれた石垣は、町の景観をなす重要な物件であるため将来に渡り保存を考慮すること。

以上、要望致します。



寄附のプロセスの可視化と石垣の保存を要望

4月5日に総務文教厚生常任委員会を開催（委員会にもかかわらず傍聴者が6名）。

現地視察の後、役場担当職員から、寄附された津田耕平商店倉庫と旧小西邸の、寄附を受けた根拠、経緯、解体工事時期、土地利用計画などについて説明があり、質疑を重ねました。
町が寄附を受ける場合、そもそもどのようなプロセス

スで決定するのが見えるようにしてほしいことから、寄附を受ける場合の何かしらの取り決めが必要だ、との委員会としての結論に達しました。
また玄武岩の石垣については、重点景観計画区域内で町の景観をなす重要な石垣であることから、壊さずに保存すべきだとの結論に達しました。

4月14日、総務文教厚生常任委員会を受けて全員協議会を開催。

全議員が委員会の結論に賛成し、町に対する「要望書（左上）」を提出することと決定し、4月19日に議長から町長に手渡ししています。

「要望書」に法的な拘束力はありませんが、住民代表である議会の総意として提出しています。

町民の皆さんとの「語ろう会」は延期に

本町の石垣は個人宅に多くがあるため、行政施策とは別に、消えてしまう可能性も高いものです。

一度壊れてしまえば、石垣の修理再生は困難を極めます。

今回のケースに限らず、町全体の石垣の価値と魅力を改めて認識し、どのように守っていくか、町民の皆さんと考えを共有する場を作りたいと考えました。

5月8日に、石垣の魅力と保全継承をテーマに「語ろう会」を開くよう準備を進めていましたが、残念ながらコロナ禍のため延期となりました。

町内でも民家の解体が進み、歯抜けのような町並みになってきています。

石垣だけでなく、小値賀らしい景観を守っていくために、議会は行動します。

延期

石垣の魅力と保全継承

小値賀町の景観を守り伝えていくために

令和3年度 第1回語ろう会

◎令和3年5月8日（土）午前10時～12時

離島開発総合センター大ホール

◎司会 横山 弘 蔵
◎小値賀町長 西村 久之
◎町議会議員 横山 弘 蔵
◎町議会議員 横山 弘 蔵
◎町議会議員 横山 弘 蔵

小値賀町には、先人が築いた石垣が数多く残っています。しかし、自然や人口減少に伴い、壊れてしまっている石垣が数多くあります。小値賀ならではの景観を守るため、石垣の魅力を語り、その価値と今後のあり方について語り合おうと思います。

石垣は、小値賀の歴史・文化・景観のシンボルであり、町の魅力を伝える重要な役割を果たしています。しかし、自然の侵食や人口減少に伴い、壊れてしまっている石垣が数多くあります。小値賀ならではの景観を守るため、石垣の魅力を語り、その価値と今後のあり方について語り合おうと思います。

定例6月会議



12事業がコロナで終わらず

前年度からの繰越 一般会計で約5億2713万円

一般質問は2人

令和3年定例6月会議を6月18日から21日まで、4日間の日程で開催しました。

議案は、条例の一部改正が3件、一般会計など4会計の補正予算のほか、財産の取得についてが1件あり、慎重に審議を重ねた結果、すべて全会一致で可決成立しています。

また前年度の繰越事業として一般会計で12事業、特別会計で4事業が報告されました。

27名の傍聴者を迎えて一般質問は2人が登壇。

今田光弘議員は「選挙公約」について西村町長の考えを質しました。

近藤隆二郎議員は「ふるさと留学および小中高一貫教育の基本コンセプト

の必要性和『四半農工漁X（エックス）』について」「吉元教育長の考えを質しました。また、「町民が主役のま

ちづくり」と「小値賀町民の未来像」について西村町長の考えを質しました。（6ページ）。



別室で大型モニターを見ながら一般質問を傍聴 高校生も来てくれました



定例6月会議

一般会計補正予算

令和3年度一般会計予算

1501万円増額 38億2386万円に

● 閩水産業振興奨励事業費補助金（黒島上架施設火災復旧事業）約194万円計上の理由は、

● 令和2年12月30日の朝に発生した火災で、上架施設・

● 閩来年4月からの搬出は予定どおりか。

● 仮置きしたごみの焼却が終わる9月いっぱいまでの予定だ。

● 閩新上五島への仮搬出はいつまでか。

● 小値賀・青方間のごみ収集車の運賃を片道分しか計上していなかったため、片道分を追加計上した。

● 閩塵芥処理費約166万円の内容は。

主なやりとり

今回の補正予算は、4月の人事異動に伴う人件費の見直しが多くなっています。また、新しくなった小値賀港ターミナルビルの自動ドアやエレベーターの保守点検業務委託料約97万円、子育て世帯生活支援特別給付金62名分310万円等も計上されています。

資材・工具がすべて焼失した。出火原因は不明だが、老朽化した集じん機の配線がショートした可能性が考えられるとのこと。町の漁業振興に必要な共同利用施設のため、共済保険金を控除した額に対して規定の補助率で算定したものだ。

6月会議

主なやりとり

一般会計の補正予算を議題とする6月会議を6月25日に開きました。

● 閩岳の内揚水機場揚水ポンプ修繕費700万円の内容は、

● 答 設置から20年経ち、以前

特別会計補正予算

後期高齢者医療事業	8万円増額	5141万円に
介護保険事業	58万円増額	3億7134万円に
簡易水道事業	654万円増額	1億5334万円に

4月会議

町議会の各委員会の委員と委員長を選ぶ4月会議を4月30日に開き、それぞれ決定しました（委員会構成は10ページ）。

また、離島留学生の寮となる「若者向け短期滞在施設」の整備工事の請負契約の締結についても全会一致で可決し、工事が始まっています（9ページ写真）。

若者向け短期滞在施設整備工事

契約相手：株式会社細川建設（指名競争入札）
契約金額：7590万円
落札率：99.5%

令和3年度一般会計予算

700万円増額 38億3086万円に

「選挙公約について」

もつと積極的な情報公開を

町民のニーズに合わせて情報を提供します

問 今田光弘議員

2年前の町長選挙では、「町民あつての小値賀町」、「町民が主役の小値賀町」という理念の下、西村町長は町民の皆さんに、次の5点の実行を約束（公約）し、当選した。

この公約の現在までの実績と自己評価を伺う。

また、任期の残り2年でそれぞれをどのように進めていくか、具体的な取り組みについて伺う。

町民が納得する診療や治療のやり方を

① 医師の2名体制について。

答 西村久之町長

現在、田中・栗原両医師のご理解とご協力により、医師2名体制ができています。

中長期的には後任を考える必要があります。「ながさき地域医療人材支援センター」の協力も得ながら、2名体制を維持できるように、今後も引き続きしっかり取

り組んでいきます。

問 2名という数字にこだわるのではなく、町民が納得できる診療や治療が受けられるやり方を模索してはどうか。

答 遠隔診療なども進めていきます。



今田光弘議員

今田議員一般質問



工事が進む新診療所（撮影／6月30日）

問 ② 地場産業の振興対策について。

答 小値賀町総合計画※、過

疎・辺地計画など、議会の同意を得て、中身を精査しながら各年度予算に計上し、実践しています。

持続的な産業づくりには「自ら考え自ら行動する」人づくりが大事だと考えており、全ての産業で今後の本町を支える人材の育成を図っていききたいと考えています。

問 何があっても一次産業の活性化と言うのではなく、本町らしい身の丈に合った地場産業を目指してはどうか。

答 総合計画に基づいた方向で進めていきます。

※小値賀町総合計画

小値賀町のすべての計画の基本となり、まちづくりの最上位に位置づけられる計画。現行の第4次小値賀町総合計画は、前期基本計画（平成26年度～平成30年度）を見直し、6年目に後期基本計画（令和元年度～令和5年度）を策定している。今年度は、後期基本計画3年目となる。

情報公開は公平・公正な行政運営の基本

問③ 松枯対策について。

答 町のシンボルである「姫の松原」は必ず残すと公約しましたが、現時点では、それはできたと考えています。

「小値賀町松林等保全計画」を作成し、直近の状況を踏まえながら計画の更新を行い、公表しています。「残すべき松林」につい



「残すべき松林」の姫の松原

ては、樹幹注入により約98

パーセントの松が残っており、思い切つて実施して良かったと思っています。

問 空中散布についての情報など、もっと町民に周知すべきではないか。

答 散布の直前に防災無線で散布区域は広報しています。が、もう一度効果的な広報の仕方を検討します。

問④ 牛の競り市場対策について。

答 平戸市場への移行は、J Aながさき西海農協、佐世保市、そして地元の生産者のご協力により、スムーズにできたと考えています。

獣医師の2名体制については、確保は難しい状況の中ではありますが、現在採用に向けて1名の獣医師と交渉中です。

問⑤ 情報公開について。

答 町の財政状況・財政計画・町長交際費などは、広報誌

やホームページで公表しています。

今後も広く町民に開かれた町政を推進するため、町民のニーズに合わせて情報を提供していきます。

また、情報公開条例に基づき、適切な情報公開を行っています。

問 求められた情報だけではなく、もっと積極的にいろいろな情報を発信すべきではないか。

町 のホームページを見ても、町の将来的な展望やビジョンが見えてこない。

情報を的確に広く公開することは、公平・公正な行政運営を進めていく中での基本的な部分だ。

答 町民の皆さんが知りたい情報については、随時お知らせしていきたいと考えています。

傍聴席からひと言
(模擬公聴会)

財政状況などは町のホームページで公開しているが、分かりにくい。もう少し分かりやすくしてほしい。

私も言わせて

～質問を終えて～

選挙公約は、町政に関する自分の考えを打ち出して町民の判断を仰ぎ、当選後は、町長はそれに向かって町と町民を引っ張っていくものだと思います。

任期の半分が過ぎましたが、町長本人は概ね公約の実現に満足している様子で、質問と答弁が少しかみ合いませんでした。

皆さん、一般質問の動画を是非ともご覧ください。

ふるさと留学および小中高一貫教育の基本コンセプトの 必要性と「四半農工漁X」について



近藤隆二郎議員

近藤議員一般質問



具体的で魅力に富んだ教育のアピールを

小値賀らしい教育コンセプトを検討していきます

どうやって小値賀に生徒を呼び込むか

問 近藤隆二郎議員

小値賀町ふるさと留学は、「ここにしかない環境で都会では体験することのできない『島時間』を刻み、小値賀町を第2のふるさとにしてくれる留学」を訴えている。

しかし、本町のこの訴えは漠然としていて分かりにくい。

一方、小中高一貫教育で12年間を通して「小値賀っ

子」を育てるというが、「小値賀っ子」がどんな子なのかも見えにくい。

小値賀らしさが具体的に伝わるオリジナルに富んだ教育コンセプトを明確にすべきではないか。

答 吉元勝信教育長

本町のふるさと留学制度のコンセプトは「人と島に学び、人と島と共に輝く」です。

離島は不便だからこそそ

小中高一貫教育は12年間だが離島留学は1年間

れを補うのが人と人の「つながり・支え合い」です。

本町での暮らしを通じた学びからそれに気づき、今後の生き方や人生観に役立ててもらいたいという願いを込めています。

今後、小値賀らしい分かりやすい教育コンセプトを検討していきます。

問 ふるさと留学は単年度で、12年間を通した小中高一貫教育とは矛盾しないのか。

答 悩むところです。

十分ではないと思います。が、寮の生活の中で、寮を管理運営するハウスマスターを通してその仕組みを伝え、その流れに乗ってもらいたいと考えています。

問 ハウスマスターが教えられるものではない。12年間を通して体得するものでは

ないのか。

小中高一貫教育との折り合いは考えたうえで、この留学制度をスタートしたのではないか。

答 教育部局に移管されたのは昨年度で、それ以前の経過は把握しておらず、申し訳ありません。

生きていける術を学ぶ

問 小値賀ライフスタイルとして、農的暮らし、漁家的暮らし、プラスX（エックス）何でもよい）を身につけて、学びながら暮らす「四半農工漁X」という概念を提案したい。

農家、漁家、大工さんたちがそれぞれ地域講師としてサポートできるのは、本町ならではの強みだ。

小中高一貫教育は教える側の連携が主であり、離島留学制度の弊害やねじれはないと思う。

小中高一貫教育と離島留学制度は高校存続のための政策であり、整合性はとれていると思う。

私も言わせて



10月完成予定の寮（撮影／7月3日）

ふるさと留学や小中高一貫教育においても、自然の中で実践的に生きていく術を学ぶこの概念を軸として打ち出しているのか。

● 答 この「四半農工漁X」が具体的な形になるのであれば、学校との連携も面白いと思います。

生きる力を育てる学びとして「地域の力」を融合させ、社会教育と連動しながらさらに進めていく必要があると考えます。

一般質問

町長！

「町民が主役のまちづくり」と
「小値賀町民の未来像」について

町がどこへ向かっていくのか明確に

町の総合計画に基づいています

● 問 近藤隆二郎議員

町長が言う「町民が主役のまちづくり」は、具体的にどのようなようにして実現されているのか。

● 答 西村久之町長

医療・保健・福祉・教育・産業すべてのことについてその方向性を示しているのが、町の総合計画です。

その下に高齢者保健福祉計画・小中高一貫教育・国土強靱化計画などがあり、その計画・立案に町民の意見を広く取り入れていくことを考えています

● 問 町がどこへ向かっていくのか見えてこない。

● 答 総合計画に基づいています。

● 問 未来が見えない中でどのようなリーダーシップをとっていくのか。

● 答 自分の方針を明確にしながら、住民の声を聴いて総合計画を良いものにしていきたいと考えています。

● 問 良い総合計画とは。

● 答 町民の意見の中で出てくる方向だと考えます。

● 問 町長が目指す「未来の小値賀町民」の暮らしとはどのようなライフスタイルなのか。

「安心して暮らせる環境づくりと活力のあるまちづくり」とは何か。

例えば、「四半農工漁X」の暮らし方を共通目標とすることで、教育・産業・移住・観光などの各施策がぶれずに統合されていく可能性を持つと思うが。

● 答 「未来の小値賀町民の暮らし」、「安心して暮らせる環境づくりと活力のあるまちづくり」の施策と方向性を示すのが総合計画です。

● 問 次回の総合計画策定の際は、町民からの意見を幅広く拾い上げていければと考えています。

～質問を終えて～

教育長、町長ともに、ご自身の強い思いや小値賀の未来像をお聞きすることができませんでした。とてもがっかりしました。



「四半農工漁X」については、その可能性について考えてみたいと思います。

新メンバーでスタート

町会議員の任期は4年（議長・副議長も）ですが、小値賀町議会では委員の任期は2年間と定めています。

4月末日より、新しいメンバーで残りの任期2年がスタートしました。

議員数が少ないため、兼務が多くなっています。

町議会委員会

			総務文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会	広報常任委員会	議会運営委員会
1	近藤隆二郎		副委員長	—	委員	委員長
2	松屋治郎		委員	—	副委員長	—
3	宮崎良保		委員長	—	委員	委員
4	黒崎政美		—	委員	—	—
5	末永一朗		—	委員長	委員	委員
6	浦 英明	監査委員	—	副委員長	—	副委員長
7	今田光弘	副議長	委員	委員	委員長	委員
8	横山弘藏	議長	委員	委員	—	—

（議会事務局 局長：西 浩康／書記：松田智恵美）

議会モニター

（敬称略／五十音順）

氏 名	地区名
浦いせ子	北目町
江川春朝	浜津前目
太田信孝	筒井浦
門田菜穂	笛吹在
田村美鈴	柳田町
筒井愛子	相 津
西 勝信	笛吹在
長谷川沙織	柳 西
藤田耕司	相 津
松永清美	宮崎町



小値賀町議会では、町内に住んでいる満16歳以上で、議会運営や町政、小値賀町のいろいろなことに関心のある方に「議会モニター」をお願いしています。

モニターの皆さんには、本会議や委員会を積極的に傍聴し、議会運営に関する意見や提言をしていただきます。

また議会のホームページやFacebook、議会だよりなどに関する意見や提言もしていただきます。

任期は2年間。

町民の皆さんのご協力のもと、町民に開かれた議会、町民とともに歩む議会の実現をめざします。

突撃取材 シリーズ8回目

たましい
～魂と思いを込めて料理を作りたい～

「ソウルキッチン」の小松さんご夫妻

起業や事業拡大などで雇用を増やす取り組みをする意欲がある人に、国・県・町が補助金を出す事業が5年目に入っています。町ににぎわいが戻ってきたような気がします。



オードブルは 3000 円と 5000 円 催事弁当 1000 円（要予約）



お年寄りにも喜んでいただけるお店に

今回お邪魔したのは笛吹地区新町にある「ソウルキッチン」。

福岡県から移住した小松勇樹・奈津子さんご夫妻が切り盛りする、お総菜・お弁当・オードブルのお店です。

開店は昨年の3月。もともと小値賀に住んでいる祖母の家を改築してお店にしました。

今では開店と同時にやってくる常連さんもうるほど人気のお店です。

定番のお勧めは、手作りコロッケ、メンチ、いも天、鶏肉のから揚げ…。

地元の食材をもつと使って、観光客向けではなく、小値賀の皆さん、お年寄りにも喜んでいただけるようなお店にしていきたいと話していました。

福岡にいた時は、仕事の関係で夫婦の時間がすれ違う生活だったそうですが、今は休みの日には二人で家庭菜園を楽しんだり、釣りや海遊びをして、のんびり？島暮らしを楽しんでいるそうです。

二人でがんばっているの
で、経営的にもどうにかやっていけそうだとのことでした。

明るい店内では環境・身体に優しい商品の販売もしていて、今巷でブームの、免疫力を高める「育菌」に

「環境に優しいものは身体にも優しい」商品も

役立つと言われている食品も、ずらりと棚に並んでいました。



毎週 月・火はお休みです



いつも笑顔の小松さんご夫妻



スローガンは「最後まで協力して全力でがんばろう」

（表紙の写真）
5月30日、校長先生の掛け声の下「がんばるぞ！」と気合を入れて始まった運動会。
梅雨にもかかわらず抜けるような青空に恵まれ、最後まで児童一人ひとりが全力でがんばりました。
この日の模様は、3部に分けて「おぢか地域おこし協力隊」がYouTubeで公開しています。表紙の写真もご協力いただきました。

第3部



第2部



第1部



立石隆教 元小値賀町議会議長 令和3年春の叙勲（旭日双光章）を受章

きよくじつそうこうしょう
旭日双光章＝旭日章6つのうちの5番目に位置し、国や公共に対し功労のある者に授与される勲章です。

よろしく
お願いします

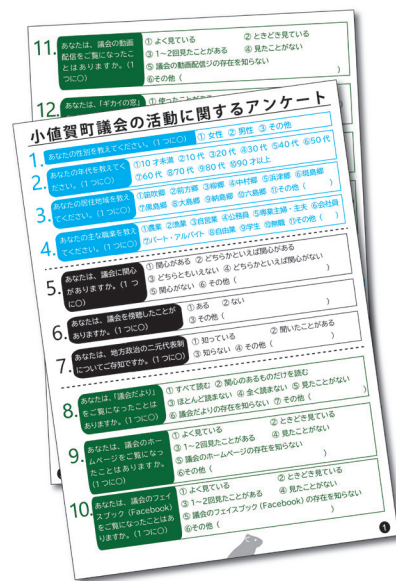
小値賀町議会の活動に関するアンケート

コロナ禍により、町民の皆さんのご意見を直接お聞きする機会が少なくなっています。

そこで、より良い議会を目指すため、町民の皆様には議会活動に関してのアンケート調査を行うことになり、この「議会だより」と前後して、各地区から全世帯に配布させていただきます。

お忙しいところ恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、アンケート結果につきましては、「議会だより」で概要を、全内容を議会ホームページ等で公表する予定です。



小値賀町議会
Facebook



編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111



編集後記

梅雨空の下、山は緑に囲まれ、蝉の声も時おり聞こえるようになってきた。
そんな中でも相変わらず新型コロナウイルス感染症が流行し、魚の価格は安いです。それでも漁業者は懸命に頑張っている。

「釣れたかい？」
「いや、大したことな

よ。」
「まあ今からばちばち釣れるようになるよ。」

「いくら釣つても魚が安かけん、漁にも行く気がせんとよう。」

浜の母ちゃんたちの声が痛いほど聞こえてくる。

漁協の庭が銀のうろこでギラギラ輝くようになれば、漁民も活気づくし、島全体が潤ってくる。

値賀咲（イサキ）の大漁を祈りつつ、町民の皆さんに幸多かれと祈念し、議会だよりをお届けします。

（編集委員 末永一朗）